

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11) 特許番号

第2657153号

(45) 発行日 平成9年(1997)9月24日

(24) 登録日 平成9年(1997)5月30日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所	
A 2 3 L	1/10		A 2 3 L	1/10	F
B 6 5 B	25/06		B 6 5 B	25/06	J
B 6 5 D	65/10		B 6 5 D	65/10	A
	85/50			85/50	E

請求項の数 3 (全 3 頁)

(21) 出願番号	特願平6-271168	(73) 特許権者	000236746 不二精機株式会社 福岡県福岡市博多区西月隈3丁目57番地
(22) 出願日	平成6年(1994)11月4日	(72) 発明者	青木 稔 福岡市中央区赤坂2丁目3の6 東急ド エルアルス赤坂701号
(65) 公開番号	特開平8-131100	(74) 代理人	弁理士 藤井 信行
(43) 公開日	平成8年(1996)5月28日	審査官	植野 浩志

(54) 【発明の名称】 包装いなり寿司及びその包装用フィルム

1

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ほぼ長方形2重フィルムの外周縁を加熱溶着し、外側フィルムの中央部に長手方向にカットテープを装着し、内側フィルムは左右2枚よりなり、中央部を長手方向に重合させてなり、内側フィルムの長手方向両側に横方向中心線の両側に亘って汗吸収シートを貼着し、上記中心線を境に折曲げ、重合する内側フィルム中央部にいなり寿司を挟持し、外周縁に沿って内側フィルムに形成した加熱溶着代の内側に汗吸収シートを貼着してなる包装いなり寿司。

【請求項2】 いなり寿司が3角形いなり寿司である請求項(1)記載の包装いなり寿司。

【請求項3】 長方形外側及び内側2重フィルムの外周縁を加熱溶着して重合外周縁を形成し、外側フィルムの中央部に長手方向にカットテープを装着し、内側フィル

2

ムは左右2枚よりなり、内側フィルムの中央部を長手方向に重合させてなり、内側フィルムの長手方向両側に横方向中心線の両側に亘って汗吸収シートを貼着し、上記横方向中心線を境に折曲げられて重合する内側フィルムの重合中央部にいなり寿司を挟持可能であって、重合する外周縁を上記横方向中心線を中心に2重に折曲げて同外周縁を加熱溶着するよう形成してなる包装いなり寿司の包装用フィルム。

【発明の詳細な説明】

10 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は漏洩のない包装いなり寿司に関するものである。

【0002】

【従来技術】従来、いなり寿司は皮が露出した状態で流通、取扱いを行ったので衛生的ではなく量産、搬送、

店頭陳列には適していなかった。油揚げの汁が包装から漏出し、或はドリップとなって品質を低下するという問題があった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は油揚げの汁の漏出や、ドリップがなく量産搬送及び店頭陳列に適した包装いなり寿司及びその包装フィルムを得ることを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するため本発明はほぼ長方形2重フィルムの外周縁を加熱溶着し、外側フィルムの中央部に長手方向にカットテープを装着し、内側フィルムは左右2枚よりなり、中央部を長手方向に重合させてなり、内側フィルムの長手方向両側に横方向中心線の両側に亘って汗吸収シートを貼着し、上記中心線を境に折曲げ、重合する内側フィルム中央部にいなり寿司を挟持し、外周縁に沿って内側フィルムに形成した加熱溶着代の内側に汗吸収シートを貼着してなる包装いなり寿司

いなり寿司が3角形いなり寿司である上記発明記載の包装いなり寿司

長方形2重フィルムの外周縁を加熱溶着し、外側フィルムの中央部に長手方向にカットテープを装着し、内側フィルムは左右2枚よりなり、中央部を長手方向に重合させてなり、内側フィルムの長手方向両側に横方向中心線の両側に亘って汗吸収シートを貼着し、上記横方向中心線を境に折曲げられて重合する内側フィルムの中央部にいなり寿司を挟持可能であって、重合外周縁の内側フィルムに加熱溶着代を設けてなり、かつ汗吸収シートが加熱溶着代の内側に貼着してなる包装いなり寿司の包装用フィルムによって構成される。

【0005】

【作用】本発明では長方形又は3角形の油揚げ皮内に飯を充填していなり寿司を形成し、これを長方形2重フィルムの内側フィルムの横方向中心線上に載置し、該中心線を境に内外側フィルムでいなり寿司を挟持し、内外側フィルムの重合外周縁を加熱溶着していなり寿司を包装する。

【0006】ところが横方向中心線の両端部分には加熱溶着不能な小トンネルaが形成される。油揚げ皮には油分、食酢や水分等の液分を含有し、下降して上記小トンネルから外部に漏出しようとするが、該液汁は内側シートの両側の汗吸収シートに吸収されて外部に漏出するこ

とはなく、この状態で搬送、取扱い及び陳列等が行われる。

【0007】喫食する場合は中央部のカットテープを引裂くと外側フィルムが左右に分離し、かつ内側フィルムは中央重合部から左右に分離するから、中のいなり寿司は露出し、これを喫食することができる。

【0008】

【実施例】合成樹脂長方形透明2重フィルム1の外周縁を加熱溶着し、外側フィルム3の中央部に長手方向にカットテープ8を装着する。内側フィルム4、4'は互に分離した左右2枚よりなり、中央部を長手方向に重合させてなり、一方の内側分離縁4''を反対側に折返す。

【0009】内側フィルム4、4'の左右両側に横方向中心線cの両側に亘って汗吸収シート5、5を貼着する。このシート5、5は吸収性不織布よりなり水、汁等を相当量吸収する。このシート5、5間に揚げ皮6'で包んだいなり寿司6を横方向中心線cに沿って載置し、内外側フィルム3、4、4'を折曲げていなり寿司6を挟持し、重合する外周縁の加熱溶着代7を加熱溶着してなるものである。

【0010】揚げ皮6'は長方形シート状、正方形シート状その他袋でない平坦シート状のもので挟持したもので差支えない。図中1'は4隅切欠部である。

【0011】

【発明の効果】本発明は上述のように構成したので包装いなり寿司の包装内にたまるいなり皮の汁が汗吸収シートに吸収されて包装の折畳部に形成される小トンネルから外部に漏出することがなく、運搬、取扱いや陳列作業が清潔に行われ、いなり寿司の品質を良好に保持し得る効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の包装いなり寿司の側面図である。

【図2】包装用フィルムの展開図である。

【図3】図2の縦断面図である。

【符号の説明】

- 1 ほぼ長方形2重フィルム
- 2 外周縁
- 3 外側フィルム
- 4、4' 内側フィルム
- c 横方向中心線
- 5 汗吸収シート
- 6 3角形いなり寿司
- 7 加熱溶着代

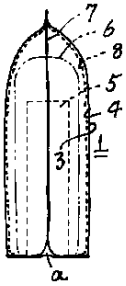
10

20

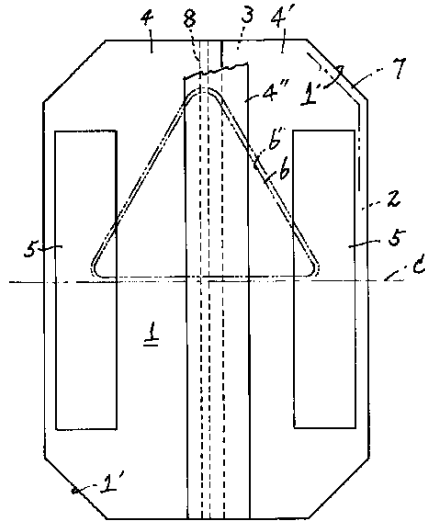
30

40

【図1】



【図2】



【図3】

